

2020年度 自己点検・自己評価

I. 教育理念・目標

評価項目	評価			
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特徴が明確になっているか)	④	3	2	1
2. 学校における職業教育の特色は何か	4	③	2	1
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
4. 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

II 学校運営

評価項目	評価			
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
2. 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
4. 人事・給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
7. 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	④	3	2	1
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

III 教育活動

評価項目	評価			
1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
2. 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
6. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	③	2	1
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1

11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
12. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
13. 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1
15. 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか	④	3	2	1
16. 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	④	3	2	1

IV 学修成果

評価項目	評価			
1. 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
2. 資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
3. 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	4	③	2	1
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

V 学生支援

評価項目	評価			
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
6. 学生の生活環境の支援は行われているか	4	③	2	1
7. 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
8. 卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
10. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	④	3	2	1

VI 教育環境

評価項目	評価			
1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
3. 防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

VII 学生の受け入れ募集

評価項目	評価			
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
3. 学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1

VIII 財務

評価項目	評価			
1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	②	1
3. 財政について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

IX 法令等の遵守

評価項目	評価			
1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
4. 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1
5. 学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか	4	③	2	1

X 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価			
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	②	1
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

評価指標 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

【2020年度に定めた重点目標評価】

1. 質の高い看護を実践するための基礎的能力の向上

- 1) 看護師国家試験合格率 100%
- 2) 学生の自ら学習し行動する力の向上を目指した関わり

《評価》

- ・第110回看護師国家試験の合格率は100%であった。3年生については、夏季休業、冬季休業に学生のニーズに応じ、外部講師と教員による補習講義等を行った。その結果、卒業時カリキュラム評価は高い評価であった。
- ・4、5月が休校となり、各学年が自宅で課題学習に取り組むことはできた。学校再開後、自治会活動など計画していたものの内容の変更、中止に伴い担当教員が支援しながら活動を進めることができた。

2. 高い倫理観と豊かな人間性の醸成

- 1) 学生のコミュニケーション能力向上を目指した関わり
- 2) 倫理的視点を重視した教育的関わり
- 3) 学生の協働する力の強化

《評価》

- ・教員は学生との関わりの中で、学生の思いをくみ取ることのできるようなコミュニケーションを意識して行動していた。
- ・母体病院の協力もありコロナ禍においても臨地実習を早期から再開することができ、担当患者や実習指導者等とのコミュニケーションとる機会を与えられた。
- ・各領域でシミュレーション学習を取り入れ、グループで学ぶ機会をつくった。自分の思いを言語化し相手に伝えるなどの能力向上はできてきたと考える。
- ・1年生は「コミュニケーションup講座」2、3年生は「社会人基礎力講座」を設定しコミュニケーションについて学ぶ機会を設けた。教科外活動においても情報リテラシーやキャリア形成について学ぶ機会を設けた。特別講義等の教科外活動を体系化していくことが課題である。
- ・看護研究や看護を語る会で実習での経験を言語化し論理的に相手に伝えるという機会を設けた。
- ・臨地実習や普段の生活の中で個人情報保護を意識行動していた。教員として、日頃の指導の中でロールモデルとなるように引き続き関わっていく。
- ・実習が学内に変更になりグループで学ぶ機会が増加した。グループ学習を通して、自分以外の意見を聞くことの重要性を感じており、協働する力の強化につながった。また1年生は基礎看護技術教育においてチューター制を取り入れ、指導教員との日程調整やグループ内での協働学習を進めることができた。

3. 教育技術の向上

- 1) 研究授業実施率 100%
- 2) 教員能力開発プログラムによるラダーレベル全員取得
- 3) 実習指導要綱の作成

《評価》

- ・研究授業は全員が実施し、授業構成や進め方、問の立て方、教育内容について振り返ることで、学生の興味・関心を促すための教育方法を教員間で考える機会となった。また、他の教員の授業に参加して新たな気づきを持つことができた。
- ・実習指導要綱の作成はできなかったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため学内実習となり各領域で学内実習指導計画を作成した。

4. 健全な経営と業務の効率化

- 1) 受験者数の確保
- 2) 勤務時間の適正化
- 3) NHO、県内病院就職率の向上
- 4) 学生による卒業時カリキュラム評価平均 3.5 以上
- 5) 授業案の作成

《評価》

- ・今年度より一般受験が2回となったことで、受験者数は前年度より増加した。
- ・教員の会議時間は朝に調整し、決められた時間で終了することができていた。
- ・就職率100%、県内病院へは97%の学生が就職した。地域貢献のためにも引き続き県内就職率を維持できるように、入学時より就職に向けた支援を教員間で連携していく。
- ・学生による卒業時カリキュラム評価全体平均3.5であった。今年度は新型コロナウイルス感染症対策により対面による就職対策、国家試験対策など学生への学習支援を考える一年となった。しかしそのような状況のなかで、様々なツールを利用し連絡やリフレクションを実施することによって、学生の思いに寄り添えるような関わりを意識した。